

前立腺生検を受けられる患者さんへ

想定診断群(DPC):110420

() 様

主治医:

担当看護師:

月 日	/	/	/	
経過	入院当日	検査当日		退院
		検査前	検査後	1日目
注射薬	・現在飲んでいる薬を入院期間分持参してください ・持参薬は主治医確認後、内服の継続・変更について説明します ・午前中の検査の方は点滴の針を入れます	・午後の検査の場合、午前中に点滴の針を入れます	・点滴は翌日まで行います ・痛みがある時は我慢せずにお知らせください	・点滴は、午前中に終了します ・退院薬があるときはお渡しします ・検査を受けるにあたって、血液をさらさらにする薬などをの内服薬を一時中止している方は、医師の指示により内服を再開します
検査処置	・ネームバンドをつけさせていただきます ・身長と体重などを計ります 	・午前中に浣腸をします ・血栓予防用の靴下をはきます ・検査は手術着に着替え、手術室で行います	・心電図モニターをつけます ・検査したところのガーゼは、翌朝までテープで圧迫します	・朝に心電図モニターをはずします ・歩くことが出来たら、血栓予防用の靴下を脱ぎます ・検査したところのテープを除去し、止血できているか確認します ・ネームバンドをはずします
観察	・体温・脈拍・血圧などを測ります 	・体温・脈拍・血圧などを測ります	・体温・脈拍・血圧などを測ります	・体温・脈拍・血圧などを測ります
活動安静	・病院内でお過ごしください	・病室内でお過ごしください	・ベッド上安静です ・起き上がることはできません	・起床後は、歩くことが出来ます ・初めて歩くときは、看護師が付き添います ・病院内でお過ごしください
食事	・治療または検査に応じた食事になります ・水分の制限はありません ・食事は検査当日0時以降は食べないでください	・()時まで水分を飲めます ・食べることはできません	・食べることはできません ・手術終了6時間後より水分が飲めます	・朝から食事が開始になります 
清潔	・入院後に入浴(シャワー)ができます ・自宅で済ませてきてもらってもかまいません	・入浴できません		
排泄	・制限はありません	・尿の管が入っています ・便はベッド上で便器を使用します		・起床時に尿の管を抜きます ・血尿の程度を観察しますので排尿後ナースコールで看護師をお呼びください
説明	・入院生活・検査・入院診療計画書の説明があります	・手術後に医師より説明があります 		・病理の結果説明は退院後次回外来時になります ・基本的には10時～11時の退院となります ・看護師から診察券等をお渡しします ・看護師からの説明がすみしたら、1階で会計を済ませてお帰りください ・クレジットカード精算の方は、後日病院から明細書が送られてきます
その他	★前立腺生検後は出血や痛みを予防するため、自転車に乗ることができません 帰宅時に支障が出るために、<u>入院時は自転車以外の交通手段でお越しください</u> ・検査に必要な同意書類などは、署名後看護師へお渡しください	 ・検査中お待ちになるご家族がいる場合は病棟内でお待ちください		☆注意していただきたいこと☆ ・血液が膀胱内で固まらないように、水分制限がない方は1日に1500mlを目安に水分摂取を心がけていただくことで、1～2週間で改善します ・前立腺生検部に圧がかからないように、次回外来までは自転車はに乗らないようにしてください ・また、長時間のバイクや激しい運動はお控えください ・尿に血液が混じっている間は、飲酒や熱いお湯への入浴は避けて下さい 排尿から一時的に血尿や下血を認めた場合は、術後の一時的な変化と考えますが、以下のような症状がみられたら病院に連絡してください ★病院へ連絡が必要な症状★ ・少量であっても血尿や血便が1ヶ月持続する場合 ・血のりの様なものが混じり、尿が出にくいと感じたとき ・濃い色(トマトジュースのような色調～ワイン色)の尿や血便が継続する、38度以上の発熱など異常な症状がある

★病状によっては予定が変更されることがあります

イラストは医療者用CDロングイラスト集より転載

大阪市立総合医療センター泌尿器科
(13516-B)

2023年 3月作成
2026年 4月改訂